

2016年 5月 19日

～オートバックスグループは学生のものづくりを応援します～
全日本学生フォーミュラ大会スポンサー企業へ！
同大会出場 2校（東北大学・名古屋大学）を支援します



2015年の第13回全日本学生フォーミュラ大会出場全チーム（画像提供：公益社団法人自動車技術会）

株式会社オートバックスセブン（代表取締役 社長執行役員：湧田節夫）は、公益社団法人自動車技術会が主催する全日本学生フォーミュラ大会の大会スポンサー、および昨年に引き続き出場予定の東北大学、名古屋大学の2チームを支援することとなりましたのでお知らせします。

ここがポイント！

- 全日本学生フォーミュラ大会は、自動車技術分野で活躍を目指す学生自らが構想・設計・製作した車両による「ものづくりの総合力」を競う大会で、国内外から100を超えるチームが参加します。
- 当社は昨年に引き続き、東北大学と名古屋大学の2チームの支援に加え、新たに大会スポンサー企業として、学生のものづくりを支援することとなりました。
- 大会期間中、当社の参画するモータースポーツの車両などの展示を行う予定です。

全日本学生フォーミュラ大会は、学生が自ら構想・設計・製作した車両により、ものづくりの総合力を競うもので、産学官民で支援することで自動車技術ならびに産業の発展・振興に資する人材を育成することを目的に開催されます。2003年に第1回大会が開催、2013年からは電動車両（EV）での競技もはじまり、将来技術のものづくりの機会の場にもなっています。14回目を迎える2016年の大会は、9月6日（火）～10日（土）の5日間、静岡県袋井市と掛川市にまたがる小笠山総合運動公園エコパにて開催予定で、国内外から100を超えるチームが出場します。

（次ページに続きます。）

当社は、2015年に開催された13回目の大会ではEVクラスで出場する東北大学フォーミュラチームTUFTと、ICV（ガソリンエンジン）クラスで出場する名古屋大学フォーミュラチームFEMの2チームに対し、レーシングスーツやシューズなどの物品面と、活動費用などといった資金面の両面で支援し、クルマに向き合う学生の活動を応援してきました。今年の14回大会においては引き続き両チームへの支援を行うことに加え、新たにスポンサー企業として大会を支援し、期間中は当社の参画するモータースポーツ車両の展示などを行う予定です。

大会の開催概要、ならびに支援を行う2チームの詳細は、下記の通りです。

記

| | | | |
|--|---|-----------|---------------------------------|
| 大会名称 | 第14回 全日本 学生フォーミュラ大会 -ものづくり・デザインコンペティション- | | |
| 主催 | 公益社団法人自動車技術会 | | |
| 後援（予定） | 文部科学省、経済産業省、国土交通省、静岡県、掛川市、袋井市、掛川市教育委員会、袋井市教育委員会、掛川商工会議所、袋井商工会議所、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、NHK、東京放送、テレビ朝日、静岡新聞社・静岡放送、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ、テレビ静岡、静岡エフエム放送（K-mix）、朝日新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、日刊工業新聞社、フジサンケイビジネスアイ、日刊自動車新聞社 | | |
| 協賛（予定） | 産業技術総合研究所、交通安全環境研究所、日本自動車研究所、日本私立大学協会、日本私立大学連盟、公立大学協会、国立高等専門学校機構、日本工学会、日本ゴム工業会、計測自動制御学会、潤滑油協会、日本機械学会、日本工学教育協会、日本工作機械工業会、日本ゴム協会、日本材料学会、日本自動車タイヤ協会、日本設計工学会、日本陸用内燃機関協会、溶接学会、日本自動車車体工業会、日本自動車整備振興会連合会、日本自動車機械器具工業会、日本自動車連盟、日本自動車販売協会連合会、土木学会、全国自動車大学校・整備専門学校協会、電気学会 | | |
| 開催日（予定） | 2016年9月6日(火)～10日(土) | | |
| 会場 | エコパ(小笠山総合運動公園・静岡県) | | |
| 出場予定 | 国内外 106 チーム | | |
| 審査種目 | | 種目 | 概要 |
| | 車検 | 技術検査 | 安全性やフレームなどの作り方に問題がないかチェック。 |
| | | 電気車検 | 【EVチームのみ】電気的な安全性をチェック。 |
| | | チルト | ガソリン・オイルなどが漏れないかチェック。 |
| | | 騒音 | 【ICVチームのみ】排気音レベルが大きすぎないかチェック。 |
| | | ブレーキ | ブレーキの効き具合をチェック。 |
| | | レインテスト | 【EVチームのみ】絶縁されているかをチェック。 |
| | 静的審査 | コスト | コスト算出の妥当性/競争力を審査する。(100P) |
| | | デザイン（設計） | 設計の適切さ、革新性、加工性、補修性等を審査する。(150P) |
| | | プレゼンテーション | 製造販売のためのプレゼンテーション技術を審査する。(75P) |
| | 動的審査 | アクセラレーション | 0-75mの加速性能を競う。(75P) |
| | | スキッドパッド | 8の字コースのコーナリング性能を競う。(50P) |
| | | オートクロス | 直線・ターン・スラロームのコース走行性能を競う。(150P) |
| | | エンデュランス | コースを約20Km走行し、走行性能、耐久性を競う。(300P) |
| | | 効率 | エンデュランス走行時の消費効率を評価する。(100P) |
| 上記の各審査結果を計1,000点満点で順位を決定、安全性、デザイン性、そしてレースには欠かせないスピード。これらトータルで優れたチームが優勝を手に入れます。 | | | |
| 来場予定者 | 大学・短大・高等専門学校・専門学校の教職員・学生、一般、報道者等 のべ15,000名 | | |
| 大会 web サイト | http://www.jsae.or.jp/formula/jp2/index.html | | |

(次ページに続きます。)

東北大学フォーミュラチーム TUFT…EV (電気自動車) クラス

2011年1月に活動を開始するも、同年3月に発生した東日本大震災により活動が立ち消えましたが、鳥人間コンテスト選手権大会の優勝チームである同校のチーム代表者とテクニカルディレクターを迎えて活動を再開しました。2013年の第11回大会から新設されたEV(電気自動車)部門に参戦しています。2016年は新入生13名を迎え、計27名のメンバーで臨みます。

チーム web サイト : <http://tuftev.web.fc2.com/>

2016年参戦マシン 製作風景



2015年大会メンバー



名古屋大学フォーミュラチーム FEM…ICV (ガソリンエンジン) クラス

2003年に発足。2014年の第12回大会では、従来のエンジンを生かしたパワートレイン開発やフルエアロダイナミクスの車体開発を行い総合優勝しました。チーム名の FEM には、Formula Entertainment Manufacturer や、Free Entry Many Mind という意味が込められています。2016年は新入生22名を迎え、計54名のメンバーで臨みます。

チーム web サイト : <http://nagoya.fem.jp/>

2016年参戦マシン 製作風景



2016年大会メンバー



今後も『クルマのことならオートバックス』とお客様から支持・信頼される活動の実践」という当グループ方針に基づき、カー用品、車検・整備、車の買取・販売、板金・塗装など、クルマのことなら何でもご相談いただける店舗を目指します。

以上

この件に関するお問い合わせ先

【お客様からのお問い合わせ】

オートバックスお客様相談センターフリーコール : 0120-454-771
受付時間 : 平日 9:00~12:00 13:00~17:30

【報道関係者からのお問い合わせ】

株式会社 オートバックスセブン IR・広報部 小野田 (おのだ)、鈴木 (すずき)
〒135-8717 東京都江東区豊洲 5-6-52 NBF 豊洲チャンネルフロント
TEL. 03-6219-8787 FAX. 03-6219-8762

※ 上記の画像等につきましては、ホームページよりダウンロードできます。 URL: <http://www.autobacs.co.jp/ja/news/index.php>